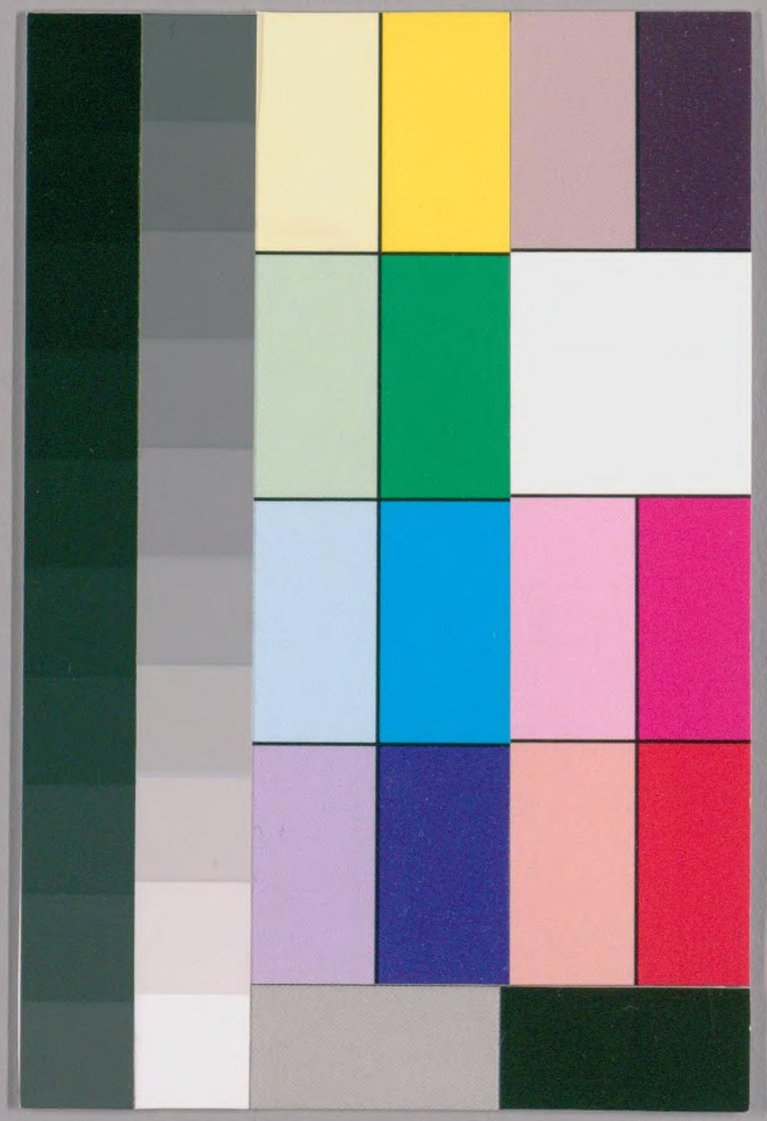


国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9

ガラス使用

856-9

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

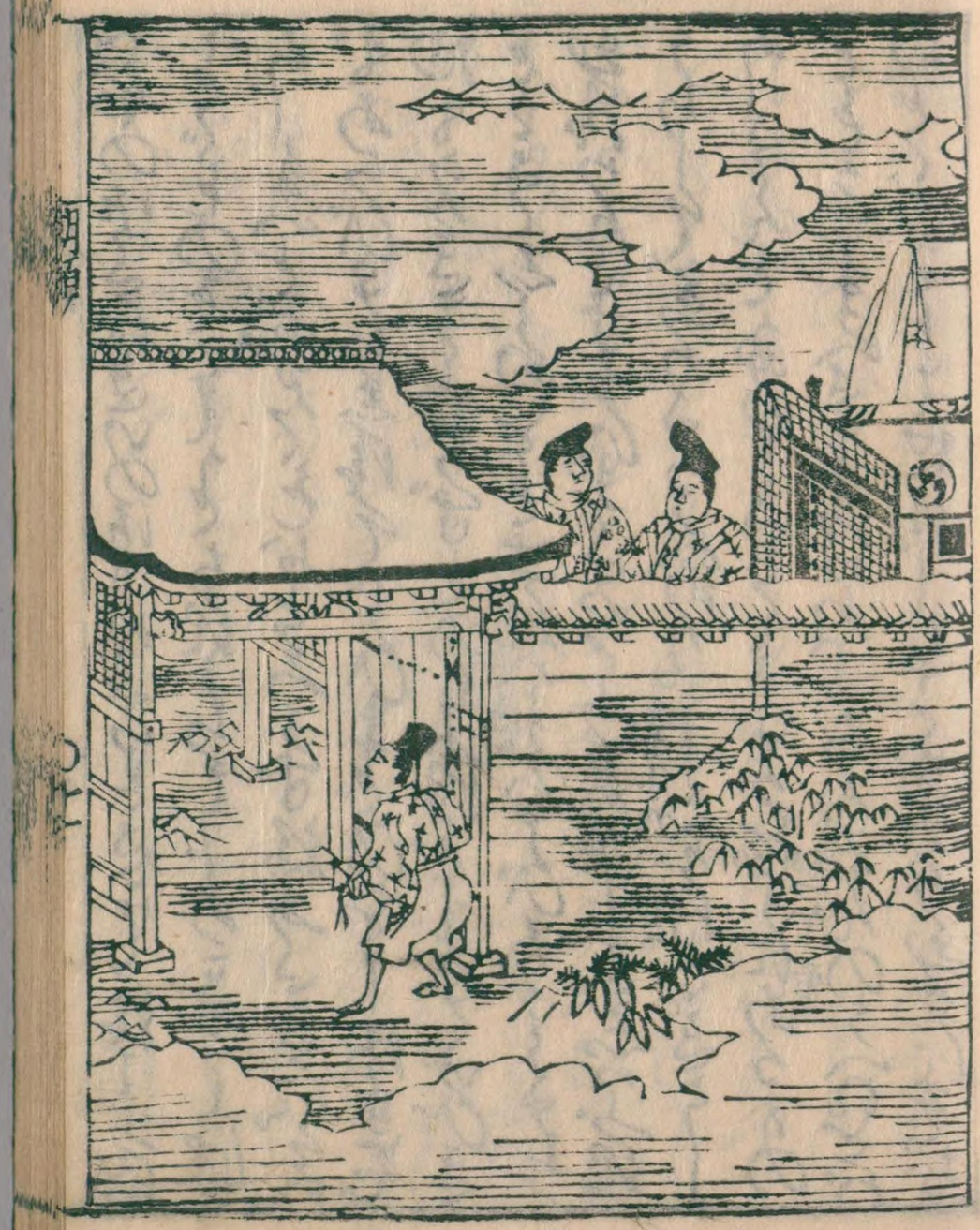
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

うそここちしめてむせれハ。(源ノ)きんをひわかとけることと
もまさりける世哉。ちかくてすゞきなるとゝひら
げてかしおつりぬ。(源ノ)びくわれぞとまるれどいろあひ
うさるりと晴れましくをりくみてゆきみひさとよ
いとじくえんあるけれまさるもとりいふして。ゆことに
うれまさらぬちてとゞものびあへむでおぼさる。(源)浄せん
ふずとのひやうなるうきさしとさてふらうりほの
あうときはなつうれほどよあるりかきならや。あくぞの
こやれんばうききさ海みて和し給もきまづきあきれ
こゆや(女五)ずるゆつりきこしつるを。いまハ人めのむなど
さしの給もとりにておしそれだなどへでなま

のたまひるをど。(入道)なぞやけれすきさんのかりがくことこそお
さへけれ。きずるあきうどのなかにてさへふるごとききはやす人なんあり
ど。びわやさまことのねをひきしづむる人ハいにしへもかたき
ことなりけれど。いとはるかに海のいそにてもかはしくれたまふ
あまりのことしき哉。人のいれさためのて。(女宮)のほう
あはれをとこそあれども。さるをやわりなきもし
とおぼしけるやかなくさうてもきさせ給。みど
すちきむけるなるをひつすむるにつそてさてと
みやもえおけやらず。(源)これならほのかにかこうる
るれなるべし。ほぐゝとひきてこそやられしといふ
くさびはくれハおかずとうとてかる哉。(源)おもひしときき

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-9
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

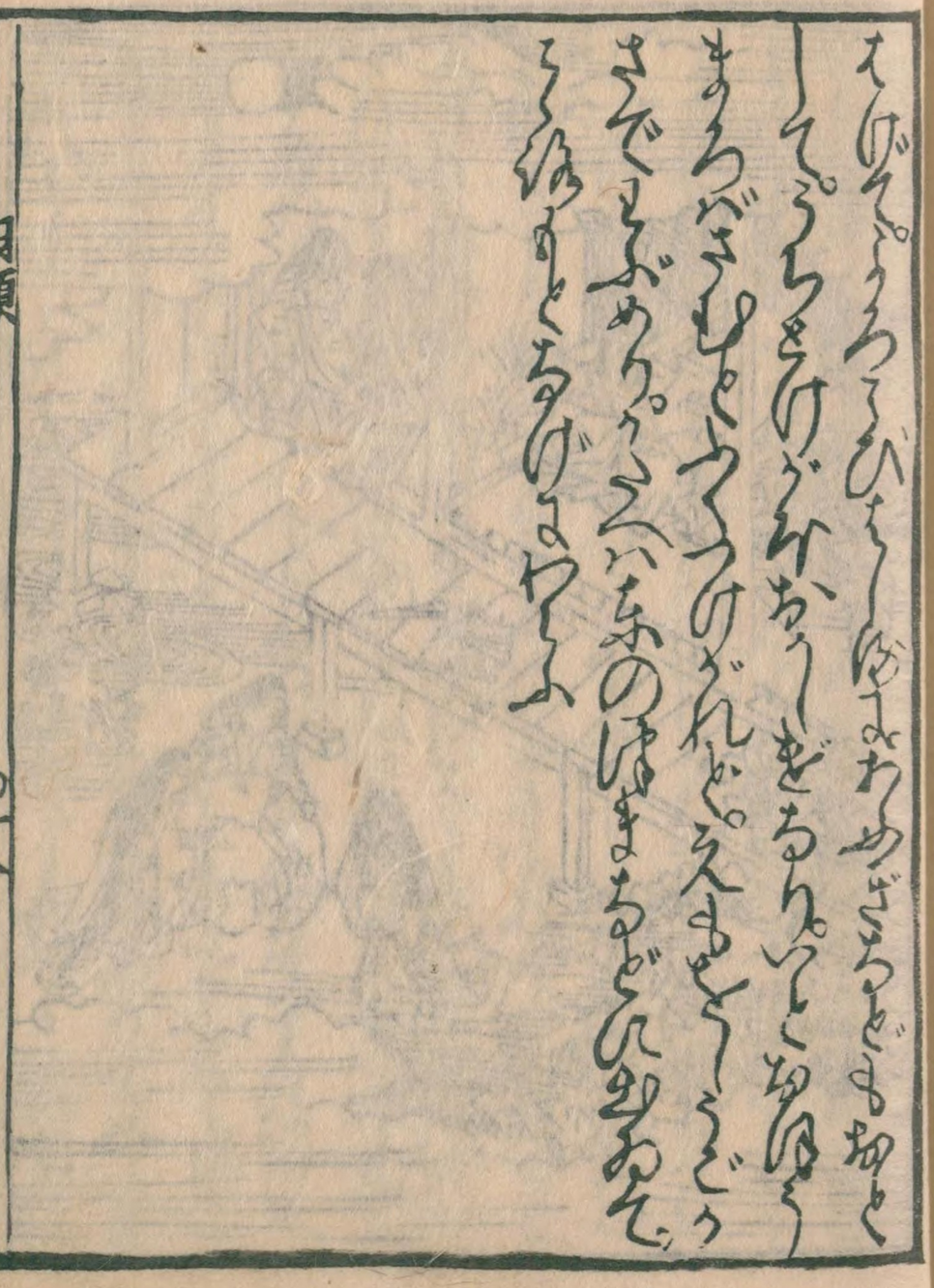
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

とまめやかにきこえ給て。ひとことにくしなども人
づてならでの給はせんを。おもひたゆるふしにもせ
んとおりたちてせめきこえ給へど。(槿)むかし我も
人もわかやかにつみゆるされたりし世にだに(桃園)こ宮な
どのこゝろよせおぼしたりしを。なをあるまじくはづか
しとおもひきこえてやみにしを。世のすゑ
にさだすぐるほどにて。ひとこゑもいとまばゆからん
とおぼして。さらにうごきなき御心なれば。(源)あさま
しうつらしとおもひきこえ給ふ。(槿)さすがにはしたなく
さしはなちてなどはあらぬ。人づての御かへりなど
ぞ心やましきや。夜もいたくふけゆくに。風のけはひ

はげしくてまことにいと物こゝろぼそくおぼゆれば。さま
よきほどにおしのごひ給ひて
(源)つれなさをむかしにこりぬ心こそ人のつらさに
そへてつらけれ。心づからのとのたまひすさぶる
を。げにかたはらいたしと人〳〵れいのきこゆ
(槿)あらためてなにかは見えん人のうへにかゝりと
きゝし心がはりを。むかしにかはることはなら
はずなんときこえ給へり。(源)いふかひなくていとま
めやかにゑんじきこえて出給ふも。いとわか〳〵し
き心ちし給へば。いとかく世のためしになりぬべきさ
まもらし給ふなよ。ゆめ〳〵いさら川などもなれ〳〵しや

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

（源）なれ人もとてうらふ給よゆうやてもとげ
このみえせるやまずくれん。とおぼえてぞうか
けるとや

源氏廿二才の三月より廿七才十月まで 年かはりて空の気色もうらゝかなるに（春ノ雨ノ謗、簡ノ）ただ世中春あ
らたまりて。卯月ノころもがへのほどなどもなまめかしき
ものしてまつり（賀茂ノ）のころはおほかたのそらの気色も
んちよげなるは。前斎院（槿）はつれづれとながめ
給ふ。おもひへなるかつらのまへ風なつかしきにつけ
てもいづくさへとはかに出ることもなしとも（源）
とのゝみまさの月ばかりのぞみにおぼさるゝ
んとて。かくひきこしさも給へりてかの
（源）かけさや八川流の波をたてかへりあへかみを
このかはれやつれをぞ。むかしの（槿）あさてふかく
すくよかに。葵の花をつけてまいりて。あかりのあ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

されど、故太子のひめ宮さいくうのさだまりしかばさ
い大将の心ばへりんとのいとおしさに、ごうくと
そへさゝゆかことをありしかば、院はそのやん
ごとなきに、さらめずちよてあきられし人さへ
あるくるしみ、おぼしけよあるぞてうはさやうまておも
わるまのも、おりふしとうちおぼし給ふも。
さうざうそうくねんごろまうさせ給ふも、さうざ
すもおもんとありし給ふあるぞてとうつよきにて
ゐの給ふつきなる、とおぼしてなほすまも、あり
あう給ふにきあのおほもれそてまつりてさへさ
給ふのしとゞまきはにたよし世になるびき給ふらんもいとつき
なきことよなんとさらにあて。ちづけなる給ひき
きれなれど。女君おもても見えさらねとわむしたまふことなく
べらきとをきこゆるれんかけさらしれば。世中いとなし
わめくのしおぼされどうの給ふづくはいかがもんだ
はてゝおいかれみえさせて。人の給ふしきなちも
ゆうげんほどもとを給ひてうかあへさやうにあるが
ちなる年よはんやかゝりさえゝんなるとは、おぼしさく
おぼしたくかみれらえのけしきれもかれどもおほじ
いそぎて二条院まてもおぼさず大将のいともゆう
しぎれおぼしうるとゞりつゝんがへしれば、御
とやうそうの宮出てとさせなすら給ひける所を

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

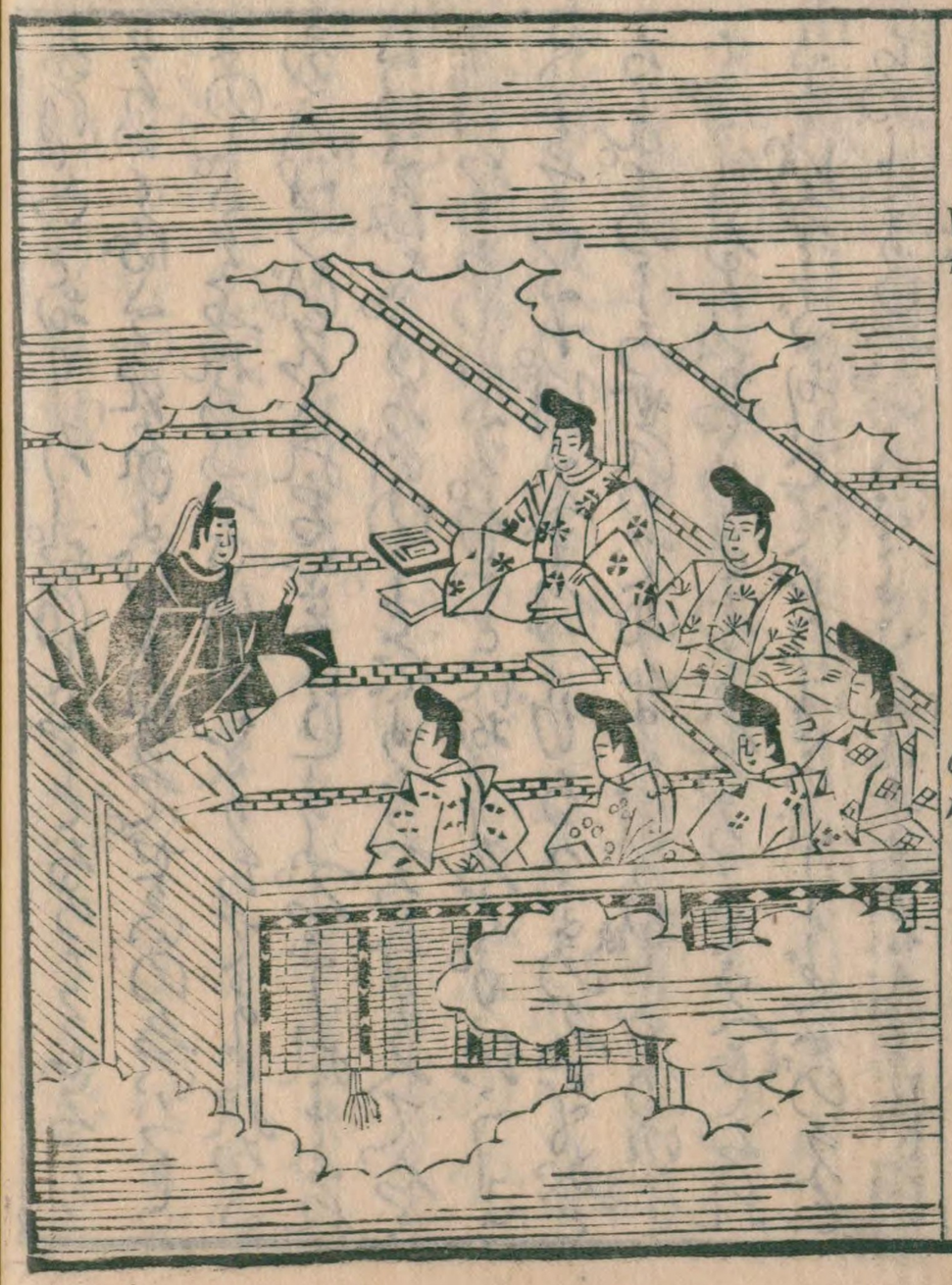
へだつるけしきなれば、にくゝもおぼしよるべかなりと
けりな。いはけなきほどより、あまりひきこもりがちなめれと
なりとかうこき給める。などのおもはれしうちをも
いとらうたしく。だね。猶へたゞもどもなど。我よ
まへりげらうと思ひしうりし。めにみかどのく
らい志のぼりつゝおよすけあへるまゝ、わさだをと
うらしと思ひれるが、んぐるしうへべるなりとき
こえ。へだうちひて、いとおよすけてをし
うとみなしなりしが、いとえうちや。これへのほどよ
とそいでとらりしとおぼしらむくめんなれて。
まうし抱のへもとえ給らぬぞ。ねらくこはとのつゝうと

けはひなんとさらに給ぬ。おざなりけることゝは、ひんがし
の院まで給ぬ。ひんがしのたいをとうつしまれたり。上
達部殿上人めづらしくいぶかしさとおもひて、我も
我もとはしどひ来りけるをも、どすく中〳〵おくし
ぬべし。もくらろなおさくまいりあへんまゝのきまてむつぐ
むつことあるべきびしうところへとおほせありへ、わがおもて
つれなう忍ずしても、からうおなみとめらるさまかう、
どものうちわりずくくるしさすゞらるをとをも。
もちあまくおめくちこもつりひしめくしくまてあ
つぎてははさるあらびまるさはうまうりそじめのみもし
らぬさ後ども、あまりけるさとでぶうちふるへずほくあま

国立国会図書館　　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

かりちゐられず。よそげなくて身まづしくなりなんこと
けう法らんじうなる家にありてうくとりつきめし
よそへうるなりけり。夕霧はおほうまでにれうりさ給
りて、びさをみれとくふ。とちまちにみをとうくさ
御とのへだし出世して、ゆくさきはなるゝべきさんへるされ
おぼしてあんうし。大学にまいり給日は、寮門
に上達部あれくるまども、かずしらずつどひきた。
おぼしき世にのこりたる人おはしとみてうれしみ
くまでりつれてばくるゝれつり給へるぞとざれ
君の御さま、げにまうけましらひはへぬずあて
まうけにうらきいのあやしれ物どもれさせちまさ

まつさへかゝるさのすゑもおぼしとおぼしめぞいと
ことわりなるや。こゝにてもまたあるじのしき
どもありて、めざましけれど、たゞこのことおほくさず
うちそへて給ふ。むかしおぼえて大学のさかゆる
ころなれば、上なるしもなる人、われもくとこのみちに
ざしあつまれば、いよいよ世中にざえあり、かしこく
志れ人おほくなんありける。かんもん擬生など
いふなることどもより、はじめ、すがすがしう
すてぬ[illegible]ひとへにはげまれて、師も弟子もい
とゞえまさりし[illegible]源[illegible]もんづくりさげくたろ
せさせ給ひしかども、およびがたくて、すべてなるまごとにつぎ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

さるは家のうちなり。女ハ女御と今一所となむお
はしける。わかんどほりばらにてあてなるすぢハおと
るまじけれど。その母君按察の大納言の北の方
になりて。さしむかひたる子どももかずおほくなりてそ
れにまぜて後のおやにゆづらん。いとあいなしと
てとりはなちきこえたまひて。大宮にぞあづけきこ
えたまへりける。女御よりはこよなく思ひおとしきこ
えたまへれど。人がらかたちいとうつくしうぞ
おはする。冠者ひとつにておひいでたまひ
しかど。おのゝ十にあまりたまひて後は御方こと
にてむつましき人なれど。おのこにはうちとく

まじき物なりと父おとゞきこえたまひてけどを
くなりにたるを。おさなごゝろに思ふことなきにしも
あらねば。はかなき花紅葉につけても。ひゐなあ
そびのついせうをも。ねんごろにまつはれありきて。
心ざしを見えきこえたまへば。いみじう思ひかはしてけ
ざやかにはいまもはぢきこえたまはず。御うしろみども
も。なにかは。わかき御心どちなれば。年ごろみなら
ひたまへる御あはひを。おやもいかでかいひてもてはなちきこえん。
と見るに。女君こそなにごゝろなくおさな
くおはすれど。男はさこそものげな
きほどゝ見きこゆれ。おほけなくいかなるあ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

きことありけるどのあて。かんだちめよりものうしさく
おへだちうさうすことうねにくちうよきらや
とのおへど。おもしろうひきつくろひ。さいはいはうち
そへてあなたおやまうめでたうかけりつ人なりや。おもひ
の世はあらまへらぬ。女ごともまうけさせなあて。おぼ
まへてもやりしゆるさず。やんごとなきよゆづる
ありそよきくて。ともあるべき人ありとぞきき
そし給ふるど。かの院御さえかふ。女ハさくんでと
よりこそ世ひかりかしかしかのよ給ひれるど。人の
上の御出て。女御をとけたうへあらず。あれど人よ
とりてハおもひ出つしと思ひのひしだと思ひあへ人

まとされぬうすくをしちん。世ハ思ひの外なるあなたこ
思ひ給めり。しかれなでふりてでおさなけまみなり
給らん。まこ家の院ぐんがくでいまれしとあるりめる
すと。人志れさて思ひの人ぐしろ給ふうおさいえい
人のえらぬかでよそきくあひきぐひめれ。おむ
給へらんよ。まして、さしろみへありがくやとうち
るげきあへ。るどくさしもおんこの気よさるす
ちの人へでものし給ひてぞ。やむやうあらじと。あれお
とくの思ひあて。女御のなことをもみてらいらぎ
給し物ぞ。おもをましりば。くあてひがむろうこと
をあるうまし。るど。しなことふてぞおはしさると

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

そ。秋の比ほよりくらて。おほけさちらちらも。これ大
さめてやさらにまとつまくらむるまへ
まつかひあすく地ちらしくて。けにはたまとく出て。
はるかきさへれども。御心にすまえあひ給ひず。かのはは
くらさなりまずもいらず。むさつかれてわれを給む女さる
さきなれ給ひしとのふもむらしくて。秋の夕やいつくあ
らんやいづれとも。わくおぼしいれさで。いか
しらさけあて打くるくて御まさむなど。とと
まいとまひあるれ給ハぞりたらう。かくらさ
もがうへさへとも御はさかつやむらう君はらしるを
なをいらじうあはめきこめれバ。ゑんともらはし

給はず。御とゞめひうらん。やさしくさびしひませんはぼく
思出でん。御つゞきこゝにもわれわすれぬ地もちらさたし
の程どふて。てふとくちおもしろの事ど。秋の御心ぐれぞ
のまろは事なり給はず。大将もいとつくしとせひさる
えて四君まいはことあらんと気色もふさなき給
はず。ぐにてさかりとむつかしさほれをも。きゝてめで中宮
のうらはひとふて事なるに。女院の世中とこひ
まゐらで拙し給ひ。冷泉かへりうむしよ。ここにまま
にでさせ給ひて。いろいろやさしさ。やさしき女は
らん。すぐれなばさかりゐあそ。よろひ
思ひて。まぬすゝめれば。おもんでもんゆるひさびく

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

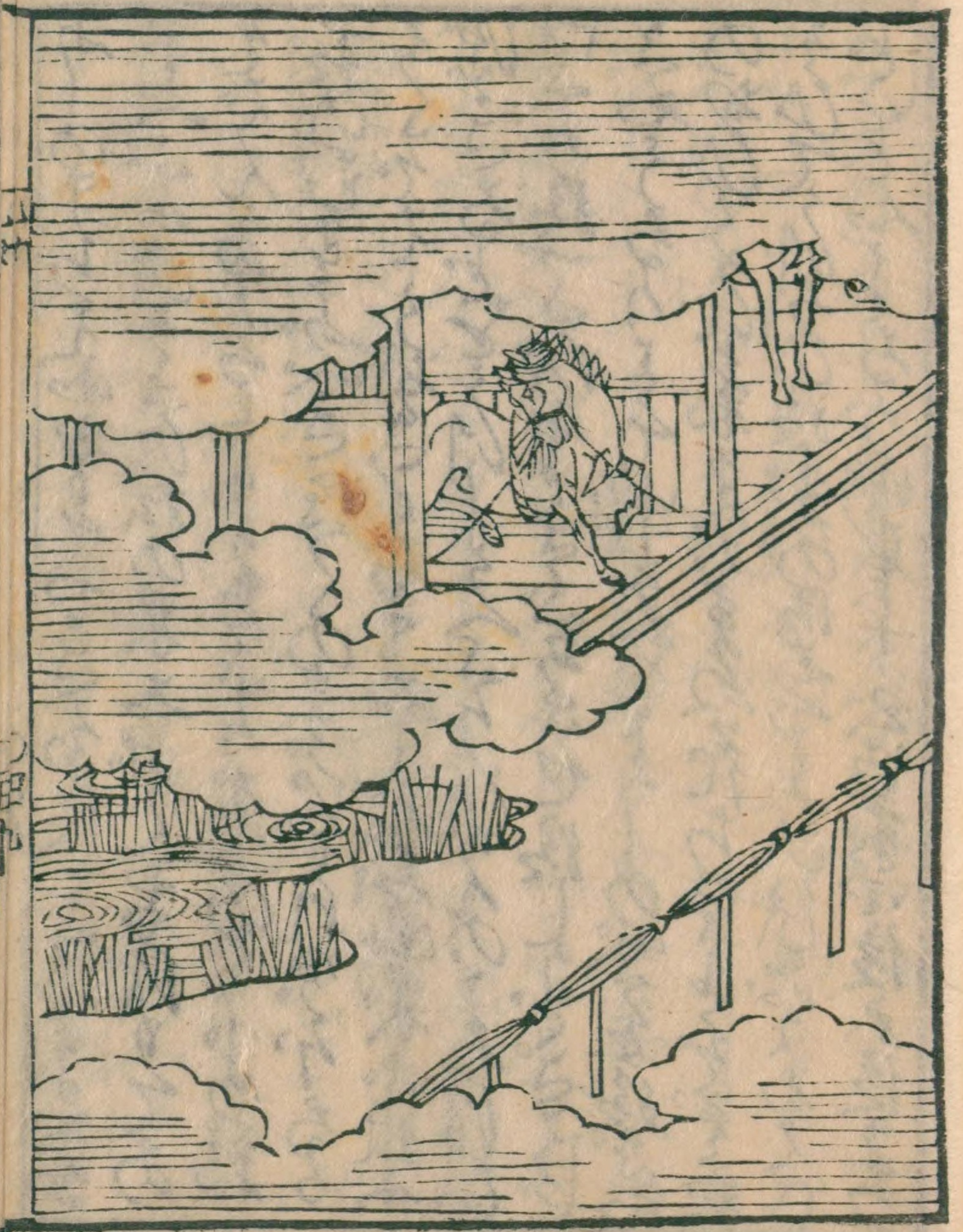
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

くの御ねがひの心ばへをつくらせ給へり。南ひ
んがしは山たかく春の花の木かずをしらずうへて
池のさまおもしろくすぐれておまへちかきせん
ざい五えふこうばい桜ふぢ山ぶきいはつゝじなど
やうの春のもてあそびをわざとはうへで秋の
前栽をばむら〳〵ほのかにまぜたり

秋好中宮の御まちをばもとのやまに紅葉の色こ
かるべきうへ木どもをうへいづみの水とをくすま
しやりてやり水のをとまさるべきいはをたてくはへ
滝おとして秋の野をはるかにつくりたるそ
のころにあひてさかりにさきみだれたりさが
の大井のわたりの野山むとくにけおされたる
秋なり

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用



東おもてはわけて馬場のおとゞつくりらち
ゆひて五月のおあそび所にて水のほとり
に菖蒲うへしげらせてむかひにみまやし
て世になき上めどもをとゝのへたてさせ給
へり

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

856
9

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9　ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-9

ガラス使用